

学校で学んだ南画家たち

—南宗画学校から大阪美術学校まで—

近代以前、南画を志す若者たちは師匠の門を叩き、入門を許されると弟子として師のもとで修業に励みました。近代に入ると、南画を学ぶ場所は「学校」へと姿を変え、関西では南宗画学校、竹外南画院、大阪美術学校などがありました。大阪美術学校は南画家・矢野橋村(1890-1965)、下中央写真)が校長として後進の指導にあたっていました。今回の講座では橋村をはじめ彼の門弟たちがその後どのように北河内で生きたのか、「学校」という形態で行われた南画教育について、近代南画の流れとともに解説します。



◎日時：2024年 **11**月 **3**日(日)
13:00 ~ 14:00 (受付開始 12:30 ~)

◎会場：御殿山生涯学習美術センター 2階ホール

◎参加費：無料 ◎対象：大人

◎定員：先着 70名

◎申込方法：センター窓口にて受付中(電話可)

お申し込み / お問い合わせ ☎ 050 - 7102 - 3135

◎講師
村田隆志氏 (大阪国際大学国際教養学部教授)

学習院大学大学院で美術史を学び、相国寺承天閣美術館学芸員を経て現職。枚方市文化財保護審議会委員、枚方市展審査員。専門分野は日本近代南画史、現代水墨画史。共著書に『静寂の南画家 甲斐虎山』(2022年)、『橋本関雪 一入神の技・非凡の画』(2023年)など。

〒573-1182 枚方市御殿山町 10-16
枚方市立御殿山生涯学習美術センター
(指定管理者：枚方まなびつながりプロジェクト)

